

きくがわ

タウン情報



特集

ホタル

菊川の夏

を探しに行こう。

次のページへ急げ！



(富田川と菊川を囲む山々)

暗闇の中で光り輝く幻想的なホタルの光に心癒され、どこか懐かしい思いを抱いたことは誰もがあつたでしょう。

菊川のどこにホタルが？
ホタルが光る秘密とは？
今回は菊川の自然環境の整備活動をされている「菊川親水会」さんに詳しいお話を聞いてきました。

今年の夏も暑い夏がやってきます。みなさんの夏のご予定は？ キャンプや海水浴、花火に旅行。夏はイベントが盛りだくさんの季節です。

自然溢れる私達の菊川でも到る所で夏の到来を告げる生物や植物が発見できます。まだまだ奥が深い菊川を散策する夏も悪くないかもしれせんね。きつと新しい出会いがあるはず！

さあ、みんなで菊川の夏を探しに行こう！

菊川の山や川には夏の風物詩がたくさん！夏の昆虫といえば王者・カブトムシがあたりこちの山にその姿を現します。腐葉土の中には幼虫もたくさんいます。山や草むらには毒蛇マムシも潜んで危険！昆虫採集には安全に気をつけて山や畑をあまり荒らさないよう気をつけましょう。

そしてこの季節の生物といえば「ホタル」を連想する人も多いのでは？ みなさん、この菊川地区、実はホタルの名所がたくさんあるってこと知っていますか？ 今回の「タウン情報きくがわ」ではこのホタルにスポットを当てて菊川でホタルを楽しむための全てを特集します。

海だ!! 山だ!!
今年も夏がやってきた!!

数字で見る菊川

	21年4月末	22年4月末	増減
世帯数	2,992	3,006	+0.4%
人口	7,858	7,822	-0.4%
男	3,819	3,784	-0.9%
女	4,039	4,038	-0.03%

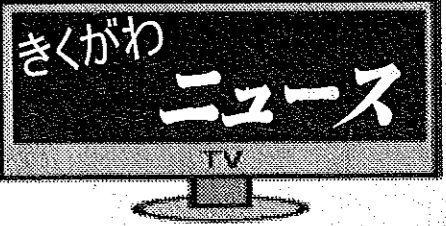


(玉入れの様子)
マックスは最終種目の玉入れ。願いの込められた玉が次々と籠へ向けて投げ込まれ、他チームを寄せ付けない断トツの1位を獲得。総合成績でも準優勝となりました。来年限うはもちろん優勝！ 喜びに沸く参加者達の表情も天気以上に晴れ晴れとしていました。

第8回周南市高齢者スポーツ徳山地区大会 中部ブロック大躍進の準優勝!!



まさに五月晴れ、絶好の天候に恵まれた5月17日、周南市陸上競技場で「第8回周南市高齢者スポーツ徳山地区大会」が盛大に開催されました。富岡・加見・向道地区で構成された中部ブロックは見事準優勝！ クライ



平成22年度 住みよい菊川をつくる会 総会・文化活動発表会を開催

去る4月29日に菊川小学校で「住みよい菊川をつくる会の総会・文化活動発表会」を開催し、総会では21年度の決算・事業報告、22年度の予算・事業計画が承認されました。

総会後は公民館各講座生による活動の発表会を開催、出演者は日頃の練習の成果を思う存分に発揮されていました。また、発表会の合間に行われた福引抽選会では当選者の歓声が会場に溢れ、先着200名に配られた花苗も好評で瞬く間に配付終了となりました。会場には約300名が来場、発表会は盛大のうちに閉会しました。

(写真は発表会の様子)

おじいちゃんの知恵袋 ～古新聞の除湿棒～

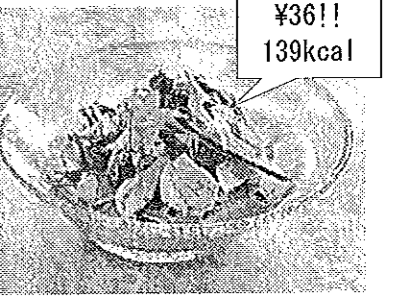
湿気が気になる季節になりましたね。そんな時は読み終わった古新聞が大活躍。筒状に丸めて靴箱やタンス、クローゼットなど湿気がこもりがちな場所に入れておくと新聞が湿気をどんどん吸収。エコな豆知識です。

つくりかた

- ①豚バラ薄切肉は3cm幅に切ってゆでておく。
- ②ポウルに赤唐辛子(小口切)、おろしにんにく少々、レモン汁、水小さじ2、砂糖小さじ1/2、ごま油小さじ1を混ぜる
- ③きゅうり(斜め薄切)1/2本、玉葱(薄切)1/4個、黄パプリカ(薄切)1/6、香菜適量を用意し、①と②を加えてあげる。



カンタン・ヘルシー!! 「エスニック風おかずサラダ」



¥36!!
139kcal

苜蓿集

広報部員募集
タウン情報きくがわでは広報部員を募集しています。地域の情報などを一緒に発信しませんか？ 空いている時間に無理のない範囲で活動します。興味のある方はお気軽に菊川公民館にご連絡ください。お待ちしています。

今年春先から天候不順でたびたび降る雨、強い北風、低い気温、寒のもどり、遅霜、日照不足に暮れた。そういえば新聞の川柳欄に「冷春という語できそうな四月です」と載っていたし、稲の苗の生育も遅れているとか。

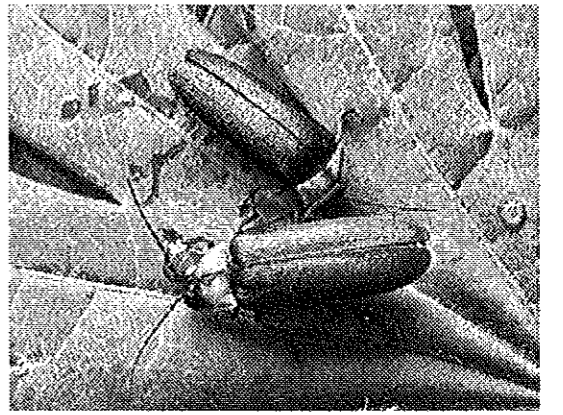
こんな季節の中でもタケノコとフキの煮物、ワラビの卵とじ、タラの芽の天ぷらを食べ、八十八夜のお茶を飲むことが出来た。小さな幸せをかみしめ。(水津洋子)

菊川日和

暦の上では風薫るさわやかな季節だが、朝から窓の外は又冷たい雨。「よう降るね」「ほめたらいいんちゃあ、やまんよ」朝から友と長電話。

「今ね小学生が登校しよる。横雨じゃからびつしやじやろうね」「親水公園は大丈夫？」「鯉は流されんかね」「そりやあそくとキョウリの芽出た？」「出ん出ん」

今年春先から天候不順でたびたび降る雨、強い北風、低い気温、寒のもどり、遅霜、日照不足に暮れた。そういえば新聞の川柳欄に「冷春という語できそうな四月です」と載っていたし、稲の苗の生育も遅れているとか。



(菊川にはヘイケボタル、ゲンジボタルの両方が生息する。)[写真はゲンジボタル]

☆ホタルのヒカリを見に行こう！

ホタルには世界で2000種類、日本では45種類が確認されており、菊川に生息するのは「ゲンジボタル」と「ヘイケボタル」の2種類。その名前は源平合戦の「源氏」と「平家」から来ており、体が大きい方がゲンジ、小さい方がヘイケと分類されています。
ホタルはなぜ光るのか？ホタルの発光はオスとメスが出会うための交信といわれており、お腹にある発光器の中で化学反応が起こることにより発光します。また、この発光は熱を伴わない「冷熱」と呼ばれています。
そしてホタルが生まれ、育ち、生息していくには環境が非常に重要な要件となります。綺麗で豊富な水、幼虫の餌となるカワニナ(貝)の生息、川辺の草木などあらゆる条件が揃って初めてホタルは成虫として生息できるのです。

菊川のひと

宇多 純子 さん

なぎなた道を追求する

みなさんは「なぎなた」をご存知だろうか。あまり馴染みのない人も多いであろう「なぎなた」は日本武道の1つとして明治以降、女性を中心に普及・発展してきた由緒正しき競技である。

もともとは戦場で用いられた武器。鉄砲の伝来に伴い、武器から競技としての色を濃くしていったなぎなたは長い歴史の中で子どもから大人まで幅広い年代に親しまれるようになり、今では日本にとどまらず世界選手権も開催されている。

下上在任の宇多純子さん



(宇多純子さん[右]と孫の禎恵ちゃん)

(教室のようす)



もなぎなたに親しまる。毎週月曜日の7時から新南陽武道館で開かれている。なぎなた教室では子ども達の指導に当たる。宇多さんがなぎなたを始めたのは50歳になる頃。体に無理なく続けられるとの理由からだ。

「菊川のひと」では菊川に住む「ひと」にスポットを当てて紹介します。自薦他薦は問いませんので、掲載依頼は菊川公民館までご連絡ください。

菊川の昔

菊川には以前、沢山のホタルが乱舞していました。市街化や農薬の多用による水質の悪化等の原因でホタルや餌となるカワニナが住みづらくなり、ホタルの数も減っていききました。その後、下水道の整備等により河川の水が綺麗になり、ホタルの数も復活していききました。

ホタルスポットを探せ！

現在、菊川地区では新菊川橋上・下流、幼稚園そばのホタル水路、武井川、井谷川、川曲・中山川など多くの場所にホタルが生息しています。みなさんも自分だけのとっておきのホタルスポットを見つけてみては？でも、ホタルを見に行くときは注意が必要！夜の川辺です。足元には十分気をつけて、なるべく数人で行動しましょう。

ホタルを呼び戻せ！

近年増加傾向にあるホタルの数ですが、その影には地域の人たちの弛まぬ努力があります。菊川親水会のみならずはさらに多くのホタルが菊川の風物詩として菊川に帰って来るように、産卵、飼育、幼虫の放流を行っています。飼育していく過程では水温や、水質に気を遣うほか、より自然に近い状態を水槽に作り上げるための多くの工夫をしていることです。将来的には飼育をしないでもホタルが自然と増えていくことを目指して親水会のみならずは活動されています。菊川といえはホタル、そんな日が近い将来来るかもしれませんね。

菊川 探訪

～第1回～

三笠屋 (上)
チカマ (下)



富田川にかかる内容橋のたもとに百年以上続く小さな駄菓子店がある。どこか懐かしい佇まいの『三笠屋』は今も昔も変わらない嬉々とした子ども達の姿で賑わう。

京都の行商人が名付け親という『三笠屋』の店主は、この家に生まれて80年になる佐伯律子さん(左写真)。昔は店の前の道路がメインストリート、鹿野行きの馬車を毎日眺めていたそう。『荷物を積んだ馬車に乗せてもらうのが楽しかった』と振り返る佐伯さん。お店は子ども達が大好きな場所。子ども達の笑顔は佐伯さんの元気の源だ。『おばあちゃん、これちょうだい』って嬉しそうなお顔を覗きこんでみる。これからのこの店を守り続けていきたいと思えます。



こんなことしちよるんよっ!! Vol.7 花菊会 (はなぎくかい)



(花菊会のみなさん)

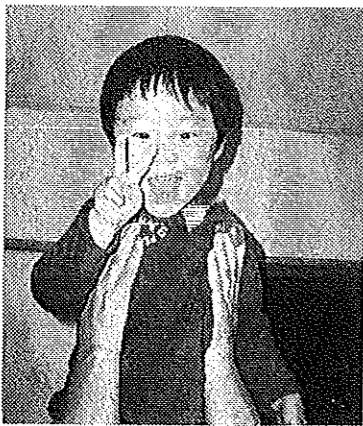
歌謡曲に合わせて元気に踊る花菊会代表・福永月枝さん(みなさん)。菊川公民館で講座活動をはじめ、数十年前という深い歴史と伝統ある講座の1つです。講師は花柳千姿夕さん、「細かい所まで教えてもらえる」と生徒のみなさんからも絶大な信頼を受けています。

音楽を聴いたり、踊ったり、振り付けを覚えたりすることで健康維持にも大いに役立っているそう。みなさんの表情はとていまいきいきとしています。おしゃべりも大切な時間、楽しい時間を過ごされています。

活動は毎週水曜日の午後1時から菊川公民館にて。性別、年齢問わず受講者を募集されているので、興味のある方は一度覗いてみてはどうでしょうか。初心者も大歓迎です。

かわいい笑顔を集めてみました。掲載可能な写真がありましたら、一言コメントを添えて広報部(菊川公民館内)までご連絡ください。(抽選で記念品を差し上げます)

笑顔リレー



村林 燎人 くん 2歳 「元気にのびのび育ってね」



戸倉 ひより ちゃん 「明るく元気に育ってね」

情報お待ちしています!

「菊川探訪」では菊川各地の名所、名店などの情報を探しています。「こんな店がある」「綺麗な景色がある」なども構いませんのでご存知の方には菊川公民館までお知らせください。



満足気なお客さんと、「ご主人の腕は百人力」とそばで見守る奥様の姿が実に微笑ましい。「菊川に住む人みんなにとって馴染める街になるといいですね」



赤・青・白のサインポールが元気よく回っている。『理髪店チカマ』は今の店主、近間広文さんが4代目となる歴史ある理髪店だ。場所は県道3号線沿い、菊川郵便局の隣に店を構える。昔、3号線は『一本松通り』と呼ばれており子ども達は道路で遊ぶのが当たり前だったという。昔はお宮の祭りや盆祭りなど盛大で楽しかった。今は人が増えましたが声をかけてくれる人が減ったのは寂しいね。そう語るの店主の近間さん。今は夫婦2人でお店を切り盛りしている。